



認定看護師だより



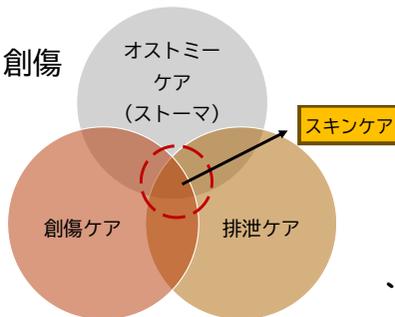
皆さんはじめまして

新しく 皮膚・排泄ケア認定看護師になりました **城戸 香織** です。

くまもと県北病院では2人目の皮膚・排泄ケア認定看護師です。

皮膚・排泄ケアはWOCと呼ばれることがあり、W:創傷
O:オストミー C:コンチネンスのケアを行います。

オストミーはストーマケア、コンチネンスは禁制、
いわゆる排泄のケアです。



創傷や排泄の問題は長期的な問題となりやすく、
日常生活や社会生活に大きく影響します。

このことは、個人だけでなく支えている周囲の人たちにも影響を与えます。

患者さんや家族、看護・介護をされている方々と悩みを共有し、
排泄の問題や褥瘡・オムツ皮膚炎など皮膚トラブルの予防のお手伝い、
悪化を防ぐためのお手伝いをいたします。

どうぞよろしくお願いします。



WOCに共通する、皮膚を健康に保つためのケア「スキンケア」が重要です。
そこで今回は…

肌の乾燥気になりませんか??

ドライスキンは高齢者に多くみられ、角質の水分量が低下し、皮膚は光沢を
失い、皮膚に細かな鱗屑(りんせつ)と呼ばれる白くフケのようなものが付着
していることで気づくことが多い皮膚の状態です。

患者さんの更衣時や清拭時などドライスキンの状態をよく見かけませんか?

ドライスキンに加えて、乾燥や衣類による刺激、過剰な石けんの使用、
寒冷刺激などで痒みが生じ、掻いてしまうことで皮脂欠乏性湿疹が生じ
ることもあります。

高齢者だけではなく、エアコンの普及や清潔意識の高まりにより若年
者でもみられており、保湿がとても大切です。

当院では、スタッフから「気づいたときに保湿ケアをしたい」という声を
いただいて、皮膚の乾燥時の条件付き指示として「プロペト®」を使用でき
るようになりました。



なぜプロペト®なの?

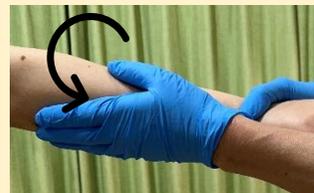
保湿剤にはヘパリン類似物質や、尿素クリーム等の医薬品や医薬部外品、化粧品等
たくさんありますが、プロペト®は刺激感が少なくどんな方にも使いやすい保湿剤です
エモリエント効果という、皮膚の表面を覆って水分の蒸散を防ぎ、皮膚を柔らかくする
効果があります

Point

1 軟膏やクリームは硬いまま無理に塗ると、塗りにくいだけでなく、
皮膚にダメージを与えたり、痒みの原因となります。
塗る前に手のひらや手の甲に取り、少し温めると柔らかくなります。

Point

2 菲薄した皮膚は軽微な外力や摩擦・ずれで損傷を起こしやすい状
態です。塗布の際の軟膏を伸ばす行為で摩擦刺激にならないよう優
しく伸ばしましょう。
保湿剤を手掌全体に広げたら、皮溝に沿って伸ばしたり、スタンプを
押すように塗布すると刺激を少なくできます。



皮膚をよく見ると、浅い
溝や深い溝が多数あり、
これを皮溝と言います



お願い: 創傷のある皮膚への塗布は行わず、必ず皮膚・排泄ケア認定
看護師へ相談するか、医師の診察を受けてください。